

時は正午内瀬解決せんとすを以て、特ニ船主ノ御願ノ以テ他工場ニ廻航せしめんとするを止し、
も遂ニ解決せかりし爲メ船主ノ御迷惑を繰返す等、之皆独リ吾工場の爲めとせしむ
の非ざるを以て。一面因島住民の爲メ、又吾等工場従業員の解決後ニ於ける仕事も、を
憂へての事ありき。

今や陸上ニ於ける争議は益々深刻となり、海上ニ於ては自ら運航し得る船は自ら動
き、自航し得ざる船は東船も東の北へ、因南の一角を後ニ西ニ東ニ去り。職工代表
者等が此船のみは豈非廻航せざる様嘆願す、大阪廣海商事会社の新造船廣進丸は
六月中旬竣工引渡りの予定なりし。

依り本日午前六時三十分残月は未だ生着山の端より折柄出たる太陽は因南の山上
現る、廣進丸は八千五百吨の巨体を北斗、深江の東船も東の北へ、別水を惜むが如く、中間
の水道を数多の所員を送られ、東へ向つて去る。見送れる者の眼中に露の涙の宿りしは無理
もたかりし事ありき。

見よ、三十有餘日前は黒煙濛々として、機関の唸る音、隆々たる鉄腕ノ打振るハンマー

の音、車輪をたがし因島も、今や一隻の船影だになく、光景轉々悲痛荒涼
の感なきを得ざるなり。

然るに争議團幹部等は團員に對し、決して船は他ニ運航されたるも
のに非ず、此近傍の島陰に隠しあるものなりは會社の策畧に乗せらるべか
らずと宣傳しつゝ、ありしは誠に笑ふに堪へざる事ありき。

五月二十四日以来工場及び争議團の仲に立ちて不断の努力と忍耐とを
以て調停の勞を惜まざりし串畑職長を始め各職長代表者の調停も遂に
昨日、一般争議團各に一應の協議だにせず、争議團本部の拒絶する処と
なりしを以て、職長以下伍長に至る迄の両工場有資格者全部、朔二十日
出勤する事に決議せり。

一方争議團に於ては本日午後二時より三庄に於て、京阪其他各方面
の応援團の後援の下に大阪鐵工所批判大演說會を開催し午
後四時閉會せり。